

大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 視察 学生レポート

訪問日時：2015年1月19日 午後4時から

参加者：大阪大学赤井伸郎ゼミ 18名(2・3・4年)+OG1名+引率教員1名



赤井伸郎ゼミの授業の現場編として、大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 の視察を行った。

視察内容(90分)

① 「NEXT21」の概要説明

- SOFC 発電電力の逆潮・融通実証
- SOFC+太陽熱利用システムの熱融通実証
- 次世代型高効率 SOFC プロトタイプ機の運転試験、など

② 「NEXT21」内の見学

本年、ゼミでは一つの班が住宅をテーマに論文を書いたこと、街づくりなどに興味を持つ学生が多いことから、あらたな時代の住居を模索している実験施設を視察することにした。次世代のエネルギー供給・生活スタイルなどを学ぶ良い機会にもなったと思われる。以下に、学生の感想をまとめる。

(1)NEXT21の試みについての感想	
1	実際に大阪ガスの社員さんとそのご家族に住んで頂いて、未来の家庭エネルギーシステムの実験を行うというのは大変面白いと思いました。一戸建て、一つの集合住宅から街全体にこのようなシステムを普及させた場合にどれほどの効果を発揮するのかとても興味深いです。
2	集合住宅も被験者も自社所属で、実験の柔軟性が確保できており、今までにない新たな行いを試しやすいという点に期待ができた。実際に多くの取り組みが複合的に行われており、これが未来の住宅かと感心した。
3	熱・電気のコージェネレーションのシステムは、次世代の住まいのあり方に活用できる有意義な実験だと感じた。しかし、井戸端コーナー等のコミュニケーションスペースは果たして活用されているのか疑問に感じた。
4	将来の集合住宅についての実験という点では非常に興味深く貴重なデータを得ることができると思った。これからは限られたエネルギーをどれだけ有効活用できるかを考えねばならない時代になるということを感じた。
5	住宅は人生の中でも特に大きな買い物なので、提案した事業を、提案者側が実際に使用し追跡調査を行うことは非常に重要な試みだと思いました。
6	省エネと一口に言ってもあらゆる手段があることに驚いた。個人的には、電気代の高い時間帯を決める方法が、一番効果があるように感じ気に入った。モニター等でどの電化製品がどれだけ電気を使っているのか分かるシステムも日ごろの心がけに繋がると感じた。
7	最新のガス設備だけでなく、たくさんのみどりや共有スペースなどが多く整備されており、ガスだけでなく住宅・居住空間全体のコンセプトから考えられていることに驚きました。ガス会社がこんな取組までしているのだと初めて知りました。
8	エネルギー供給の効率化等の実験をただやるのではなくて、各フェーズに分けて段階的に行っていることで、各フェーズで出てきたメリット、デメリットを次のフェーズでしっかり生かすことが出来ていた。
9	エネルギーの効率性を求めるだけでなく時代の潮流に合わせた様々な住まい方を提案している点、各フェーズごとに詳細なテーマ設定をしている点がよいと思った。
10	非常に先進的な取り組みで興味深い実験だった。数年後の居住スタイルに合わせてつつ、地球環境にも配慮した住宅環境は今後さらに需要が増していくと思った。

11	その人のニーズにマッチする「住む」という環境を考え提供するサービスにとっても興味があった。省エネへの働きかけはいいが、料理はあれこれ考えながらするのも醍醐味なので、システムに頼りすぎるのはその楽しみを削ぎかねないと思った。
12	エネルギーシステムも各部屋のデザインも、建物自体の構造も実験的で新しいもので、お話を伺うのも見学するのもとても興味深かったです。エネルギーのシステムは正直理解不足ですが、太陽光や太陽熱など、使えるものは全部使っている感じがすごいなと思いました。
13	ガスは、オール電化など料金などの面で、電気におされている感を若干感じていたが、やはり、暮らしに密着しているインフラとして、ガスを使ってどう効率的に暮らしていくか、その現場を見ているようで、とてもおもしろかった。私はガスは電気と違って、料理を作るにしろできあがったときのおいしさが全然違うし、なんというか一味違うなという印象を持っていた。やはり今回の家もものすごくおしゃれて一味違う感をより一層感じた。
14	”自然と共生”の屋上・壁面緑化、庭園整備の費用がどの位か気になった。あの水準のものがほかでも可能か等々自然エネルギーの開発は課題もあるが進めたいという企業努力に感心した燃料電池発電の売電など法制度的に認められていない部分もあるようなので、その背景の課題は費用なのか。
15	自然と“共存”しているかどうかは、人工的に植物を植え付けていることを考えれば疑問ではあるが、今後自然とどう付き合っていくかという議論に新たな考え方を提案するものであるように思う。
16	ここで実証実験されている取り組みが、様々な家庭に広がる日も近いと感じた。マイホームを建てる際には、エネファームとスマートコンロを導入したくなった。
17	最上階のみ戸建という想定をしていたそうだが、next21のように電力などをうまく全体で循環させられるような仕組みが一般に普及できたら面白いと感じた。
18	NEXT21の試みはすごいと思いました。次世代の環境住宅及び高齢者社会のための住宅を一から作り、それに社員に住んでもらって、試行錯誤を重ね、より良い住環境を作っていくことで今後社会に普及していく大阪ガスが改めて、ガスのみならず、あらゆる分野で貢献しようと努力していると感じました。
19	単なる先進住宅のショールームではなく、実際に住人がいて、様々な実験が実施されており、その試みは非常に面白と感じた。「オール電化」を選択する家もある中で、如何にガスならではの特徴を磨き、アピールしていくか、今後の研究に期待したい。

< 4G とは、4 世代の女性を意味する。 >

(2) 見学した4Gの部屋と将来を見据えた、そのコンセプトについての感想	
1	正直あの部屋は住みすらそうだなというのが感想です。しかしながら、棚の奥の部屋や、お互いの視線があえて重なり合わないダイニングテーブルなど、これ家であれば良いのになあと思ったものもたくさんありました。介護のことや世代交代を最初から考慮に入れている点は素晴らしいと思いました。
2	利便性もデザイン性も素晴らしく良い部屋だと感心したものの、4Gの4girlsの部分に縛られ過ぎではないかと感じた。『私』が今後も結婚しないことが確定的な間取りで、将来を考える上では柔軟性が薄いのでは。個人的には、秘密の部屋が非常に気に入った。
3	実際に4Gのモデルに適合する住人がまだ見つかっていないことから、このコンセプトは一般的ではないと感じた。「私」「母親」両方に夫がないという家族形態は2020年でも少ないのではないかなと思う。
4	4Gのコンセプトに合致する世帯が果たして日本にどれほどいるのかは知らないが、様々なライフスタイルに合わせたエネルギー利用を研究するという点では貴重なデータが得られるかもしれない。
5	長年使用することを前提としている住宅を造る際には、将来の様々な形態を見据える必要が特にあります。4Gの部屋は、シングルマザーや女性同士の親世代との同居など未来の家族の形態をよく表現している部屋だと思いました。
6	コンセプトとしては無理はないと思う。しかし、部屋を見ると住みたいと思うかは正直微妙と感じた。人数の割に家全体の面積が少なく窮屈そうだったり、電気代がリアルタイムでカウントされていたりと、くつろぐ場所である家としては少し疲れる空間になっているような印象を持った。
7	少子高齢化が進む現状に即したコンセプトの部屋だと感じました。必ずしも女性である必要はないのかなと思います。新しい家族構成の住宅が増える中で、ガス会社としてはどのようにかわっていくのだろうかと思いました。
8	各部屋に明確なターゲットが設定されていることで、マーケティング戦略は非常に立てやすくなっていると感じた。加えて、将来を見据えて、部屋が可変的な構造になっており、リフォームの不安なども減るのではないかなと思った。
9	個人化が進み、人々が個人の空間、時間を求めるようになったものの、ある程度は他者とのつながりを求めている現代の風潮をよくとらえていると思った。”4人の女性”というテーマを寸分たがわず商品化することは難しいと思うが、そのコンセプト自体はこれからの時代に求められるものだと感じた。
10	全てのコンセプトが斬新で衝撃を受けた。 実際に将来実現することを考えるととてもわくわくした気持ちになった。機会があれば、ぜひ将来そういった家に住んでみたいと思う。

11	外からみたら共有スペースだけれど、内からみたらプライバシーは守られている柵の配置・角度への趣向がすごいと思いました。女の子・女性向けにデザインされた部屋ならば、もうすこし各部屋に個室感があつたほうが落ち着くと思った。
12	4Gの部屋は、ターゲットが絞られすぎていると思いました。家族内のコミュニケーションが乏しいという現代の課題に向き合ったあたたかいデザインだと感じました。ただ、実際に自分が住むことを想像すると、もう少し一人の時間を持てる空間が欲しいなと思いました。
13	4Gの家をはじめにみたとき、凝ってるなーというのが第一印象である。コンセプトから部屋の隅々まで、こだわりを感じた。ガスメインだからかわからないが、電化製品とかを置くスペースがないなーとも思いました。
14	設定があまり現実的に感じられなかったが、現代の二世帯・三世帯にむけて従来とは異なる住環境を提案したことは興味深い。
15	新しい生活スタイルとして今後広く認知されていくと思う。 少し前にシェアハウスが話題となったが、それに近いものがあるように感じた。今後機会があれば是非実際の生活を体験してみたい。
16	コンセプトに沿って様々な工夫が凝らされた家であったが、娘の成長やその後の人生の変化に適應できる部屋作りと言えるかは疑問に思った。コンセプト自体は、婚活班としては胸が痛んだ。笑
17	個人の住む家というよりかは、カフェなどに適しているように思った。想定している居住者の範囲がかなり狭いので、居住希望者もそう多くなならないだろうが、女性のみで世帯というこれからの未来を見据えているように感じた。
18	あらゆる状況を考慮して、かつどのような家族構成でこの住居に住んでほしいのかを考えながら作った住居はそれぞれの住居にストーリーがあつて面白いと思いました。単に内部構造のみならず、外部からこの住居がどのように見えるかまで考慮してあつて、利便性のみならずデザインも様々な面から考慮されていると感じました。
19	ニーズが多様化する中でコンセプトが非常に面白いと感じた。個人の空間・家族との空間・外の空間・その中間の空間をいかにバランスを保つか、という点は今後の行政による社会・地域づくりにも重要な視点だと思った。